



サイトにアクセス！
オフィスの動画や
インタビューも視聴できます。



本社オフィスを 「ライトサイジング」し、 共創の場へと進化

1

AGENDA

コロナ禍のピンチをチャンスに

コロナ禍以前に、すでに段階的に在宅勤務やテレワークを導入してきた、株式会社ぐるなび。本社オフィス改変の大きなミッションは、オフィス面積の大幅削減による適正化でした。「ダウンサイジング」ではない、ポジティブな「ライトサイジング」へ向かいました。

2

APPROACH

働き方進化プロジェクトを推進

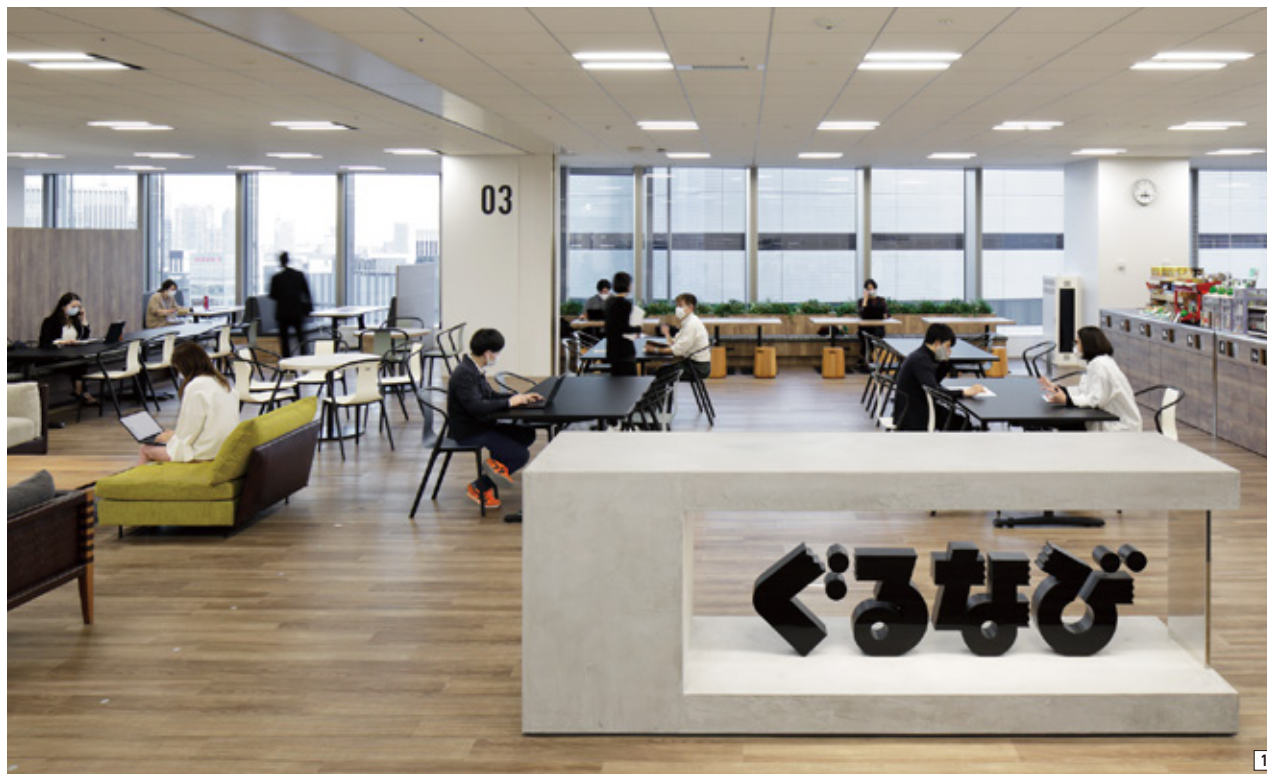
本社オフィス全体で、最終的には面積を約50%削減、座席数を75%削減。オフィス環境やファシリティだけでなく、制度やしきみも含めた働き方そのものを進化させようという狙いで、全社一丸となった「働き方進化プロジェクト」が2020年6月にスタートしました。

3

SOLUTION

コラボレーティブな場が誕生

オフィスの位置付けは、今までの「ワークスペース」という捉え方から、組織を超えて新たな価値を提供する「コラボレーティブスペース」へと進化。より創造性や生産性、社員一人ひとりのエンゲージメントを高めながら、成長につなげるオフィスが生まれました。



1



2



3

① 社員みんなのエンゲージメントを高める「バル」。スペインの人々の暮らしに欠かせない飲食や出会いの空間に学んだ交流の場を創造した。偶発的なコミュニケーションを促すとともに、会社の一体感を感じ取ってもらうことができる。② 「フレキシブルスペース」は、研修や勉強会、発表会、表彰式など、まさにフレキシブルに活用される。③ 執務エリアには基本的にフリーアドレスを導入。自宅よりも質の高い、選べる執務環境を提供し、作業を効率化させている。

交流したり、集中したり、
その日の仕事の内容や
目的に合わせて
さまざまな場を選択できる

7つのワークエクスペリエンス

本社オフィスで実現しようとしたのは、7つのワークエクスペリエンス（体験）。その体験ジャンルは、「はかどらせる・仕上げる」「出会う」「繋がる・深める」「感じる・伝える」「調べる」「創る・膨らませる」「学ぶ・育てる」です。これらのリアルな体験を得るために、用途に応じてさまざまな場を選びながら働くことができます。

DATA

所在地	東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷（日比谷三井タワー）11F
オフィス対象面積	約3,150㎡
オフィス対象人員	1,400名
インテリア竣工	2020年11月
オフィスコンサルティング	オカムラ（六車 文明、舩田 愛海）
オフィス設計・デザイン	オカムラ（吉島 理恵）



① フルクローズ型ワークブースの1人用、2人用、4人用を、各2部屋ずつ用意。周りの視線や音漏れを気にせず、集中作業はもちろんWEB会議や打ち合わせにも利用できる。② 気分転換し、集中してPC作業などを行える、「低座・後傾」姿勢をベースとした席も用意されている。③ 「オープンミーティング」は程よく囲われた空間で、ホワイトボードや大画面モニターを使いながら打ち合わせできる。④ 情報やひらめきを得られる「ライブラリー」。⑤ 組織を超えて気軽に集まり、ミーティングできる「ハドルスペース」。ハドルはアメフトに由来した短い作戦会議のこと。